

新北見市史 資料編 目次

口 絵

- 北見の地誌 1
 - 常呂川流域の地勢／常呂川流域の地質
- 北見の気候 16
 - 気象統計
- 植物(常呂川流域の自然を愛し豊かな植物相を探究した人々) 24
 - 北見市の景観と植生／常呂川流域の自然を愛し豊かな植物相を探究した人々・団体／常呂川流域の植物一覧
- 端野町のカタクリ 55
- 樹木医 63
- 北見市周辺の野鳥 66
 - はじめに 鳥の種類は何種類か／北見の鳥相／北見市周辺の野鳥／北見市の鳥類目録
- 北見市の蝶類 83
 - 植物環境と分布／昆虫研究の流れ／北見市動植物調査報告／合併後拡大した地域の昆虫／北見市の蝶／北見市産蝶の分布と発生一覧／北見市の昆虫採集・分布・生態研究をした人物／生息分布地の今昔／後記
- 水産統計 101
 - 殖民公報統計 鯨・鮭・鱒の収獲量／常呂村村勢一班魚種別漁獲高／常呂川さけ・ます放流数及び捕獲数／常呂郡の漁船数の推移／北海道水産現勢常呂漁船の推移／魚種別漁獲量及び金額／常呂漁業協同組合組合員の推移／北海道水産現勢／北海道漁業現勢／水産製品生産高／北海道農林水産統計年報(属人統計)／鮭・鱒漁獲推移／北海道水産現勢主要魚種別累年データ／北海道市町村勢要覧類別漁獲量／北海道市町村勢要覧類別漁獲高の推移
- 屯田歩兵第四大隊における出身地の構成と特色 169
 - 屯田歩兵第四大隊 第一中隊(端野)／第二中隊(野付牛)／第三中隊(相内)／第四中隊(南湧別)／第五中隊(北湧別)／第四大隊中隊別出身県順位／第四大隊出身者県別入植者数／第四大隊出身者郡別入植者数
- 北光社における入植者名簿 203
 - 明治30年入植者名決定のための氏名対照一覧／瀬戸港乗船者及び同港乗船と考えられる者／須崎港乗船者及び同港乗船と考えられる者／乗船港は不明だが、北光社に入植したと考えられる／先発隊で、北光社で越冬した者／浦臼からの移住者
- アイヌ語地名 227
 - 常呂町のアイヌ語地名(サロマ湖及びオホーツク海沿岸)／常呂町のアイヌ語地名(常呂川流域)／端野町のアイヌ語地名／北見市のアイヌ語地名／留辺蘂町のアイヌ語地名
- 郵便局開設状況 273
- 主な火災の記録 281
- 人口統計 284
- 校章 290
- 合併協定書 293
- 新市まちづくり計画の基本目標ごとの主な実施事業一覧 338
- 開設公園一覧 351
- 新庁舎建設ニュース 354

- 将来外科医になったら ブラックジャックセミナー体験記 367
- 北見地方の小作争議 370
- ル・ペシ・ペの墓標 396
- 北見における駅通 400
- 野付牛村誌 408
- 回顧録 島次作 422
- 屯田兵村の生活 426
- 屯田兵村自治参考書 474
- 屯田兵員及び家族教令 479
- 北海道北見國 野付牛村移住の葉 485
- 北見開発のさきがけ 澤本楠弥略伝 492
- 戊午東西蝦夷山川地理取調日誌(松浦武四郎) 516

凡 例

1. 本史は『新北見市史』「上巻」「下巻」「年表編」「資料編」全4巻うちの「資料編」である。
2. 史書の例にならって人名はすべて敬称を略した。
3. 記述は努めて平易なものとし、学術用語等を除いて極力、常用漢字・現代仮名遣いを使用し、必要に応じふりがなを付した。
4. 本史は主に自然資料、歴史資料、統計資料で構成されている。
5. 自然資料、統計資料については、横書きを主としたが、歴史資料については、原文のまま縦書きを採録したことから本史の前半は横書き、後半は縦書きの仕様となっている。
6. 本史執筆にあたっては、担当分野の執筆者の意向を尊重し、原則として、表現や表記等については統一を図るよう務めたが、その限りではない。
執筆分担者を次に示す。

『新北見市史』資料編 執筆担当者一覧

北見の地誌	金山 美香（協力員）
北見の気候	斉藤 幸喜（市史編さん主幹）
植物（常呂川流域の自然を愛し豊かな植物相を探究した人々）	高岡 潤（専門委員）
端野町のカタクリ	大橋 秀規（編集委員）
北見市周辺の野鳥	花田 行博（専門委員）
北見市の蝶類	進 基（専門委員）
水産統計	山田 真司（協力員）
屯田歩兵第四大隊における出身地の構成と特色	大橋 秀規（編集委員）
アイヌ語地名	佐々木 覺（編集委員）
郵便局開設状況	石井 健一（副編集委員長）
主な火災の記録	海野 勲（編集委員）
	石井 健一（副編集委員長）
戊午東西蝦夷山川地理取調日誌（松浦武四郎）	佐々木 覺（編集委員）
屯田兵村自治参考書	大橋 秀規（編集委員）